

農業委員会組織・制度改正への対応は

田中委員 農業委員会

の組織・制度改正が平成28年4月1日から施行されるが、対応をどのように進めるのか。

当局 当町はこれから1年余りの猶予がある（現在の任期は平成29年7月19日まで）。ほかの市町村の状況なども見きわめながら、どういう方法がいいか十分議論し、制度改正に向けて様々な検討を進めていきたい。

商工費

フラワー長井線を利用する観光事業は

佐々木委員 経営改善

計画の策定を踏まえ、商工、観光の分野でも、長井線に乗っていたべくことを目的とした事

業を積極的に計画するべきでは。

当局 長井線は観光の一つの交通手段として重要だと認識している。それぞれの観光イベントの中で、山形鉄道にも参加していただき、連携している。

土木費

できる箇所が少なくならないか

奥山委員 協働のまちづくり事業は道路維持などを区や地域が行い、原材料などを支援する事業だが、原材料の値

上がりで規模が縮小しないのか。

当局 非常に大事な事業であり、状況を見ながら必要なものには配慮したい。

四季の郷の販売計画は

佐藤委員 「すまいる！四季の郷」定住促進プロジェクトによる分譲地の販売実績と28年度販売計画と方策は。

当局 26年度に1区画、27年度に4区画と、年々販売実績が伸びている状況にある。

購入支援（歳出）として3区画分を予定、売上金（歳入）は確実なところで1区画分を計上した。

満砂の中丸池は災害を招く

石川委員 今年の6月まで満砂状態を改善し



大型土のうの出番がないように

なければ、災害が起こりえる。岸から届く範囲だけでも浚せつしなと取り返しのつかない事態になるのでは。

当局 下流に流出しないよう大型土のうをス

トックしている。土砂を取り除いても、今の状況では上流から流れ込む。災害が起こりえる状況のときには、できるだけ早く避難を呼びかけたい。